

予 算 要 求 資 料

令和 3 年度 3 月補正予算 支出科目 款：民生費 項：児童福祉費 目：児童保護費

事業名 新 児童養護施設等従事者処遇改善事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部子ども家庭課児童養護第二係 電話番号：058-272-1111 (内 2637)

E-mail： c11217@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 15,260 千円 (現計予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	15,260	15,260	0	0	0	0	0	0	0
決定額	15,260	15,260	0	0	0	0	0	0	0

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

社会的養護の現場で働く職員の収入は、民間企業の平均に比べ低い状況にある。労働環境を改善し、更なる人材確保に努めていく必要がある。

(2) 事業内容

下記対象施設で働く職員に対し、月額 10,900 円を支給する。(法定福利費等の事業主負担分を含む。)

【対象施設】 児童養護施設、乳児院、児童心理治療施設、母子生活支援施設、
自立援助ホーム、ファミリーホーム

【対象期間】 令和 4 年 2 月から 3 月までの間

(3) 県負担・補助率の考え方

国 10/10

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	15,260	@10,900円×700人×2か月
合計	15,260	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

令和3年11月19日「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」

－ III 未来社会を切り拓く「新しい資本主義」の起動

－ 2. 分配戦略 ～安心と成長を呼ぶ「人」への投資の強化～

(2) 国・他県の状況

国：令和3年度補正予算にて「看護、介護、保育など現場で働く方々の収入の引上げ」として、1,665億円計上。

(3) 後年度の財政負担

令和4年2月～9月：国 10/10

令和4年10月～：国 1/2、県 1/2

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
社会的養護の現場で働く職員の収入を引上げ、職員の人材確保及び離職防止を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 <small>（前々年度末時点）</small>	目標	達成率
賃金上昇率（前年比）	— (H)	— (H)	— (H)	— (R)	3 % (R3)	%
	(H)	(H)	(H)	(R)	(R)	%

○指標を設定することができない場合の理由

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

（前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせて実施する理由や期待する効果 など	

